

官民研究開発投資拡大プログラム（PRISM）  
「革新的建設・インフラ維持管理技術／防災・減災技術」  
第3回 運営委員会 議事要旨

1. 日 時 平成29年9月26日（火）16：00～18：00

2. 場 所 中央合同庁舎第4号館 12階1212会議室

3. 出席者

<領域統括／座長>

田代 民治 鹿島建設株式会社代表取締役副社長執行役員

<運営委員>

岡本 正	清水建設株式会社代表取締役副社長土木総本部長 (一般社団法人日本建設業連合会インフラ再生委員会委員長)
中島 正愛	株式会社小堀鐸二研究所代表取締役社長
藤田 正弘	三菱電機株式会社常務執行役開発本部長
三木 千壽	東京都市大学学長
矢吹 信喜	国立大学法人大阪大学大学院工学研究科教授

<内閣府>

久間 和生	内閣府 総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員
生川 浩史	内閣府 科学技術・イノベーション担当 官房審議官
黒田 亮	内閣府 科学技術・イノベーション担当 官房審議官

<事務局>

宮武 晃司	内閣府 科学技術・イノベーション担当 参事官
武田 憲昌	内閣府 科学技術・イノベーション担当 企画官
松村 瑞秀	内閣府 科学技術・イノベーション担当 政策調査員
小林 誠	内閣府 科学技術・イノベーション担当 行政実務研修員

#### 4. 議題

- (1) 実施方針（案）について
- (2) 各省提案施策の評価・選定について
- (3) その他

#### 5. 配布資料

- 資料 1-1 実施方針（案）【非公開】  
資料 1-2 実施方針（案）へのご意見を踏まえた対応【非公開】  
資料 2 各省提案施策の評価方針（案）【非公開】

#### 6. 議事要旨

- (1) 実施方針（案）について
  - 第1回及び第2回運営委員会での議論を踏まえた実施方針（案）の修正内容について、事務局より説明。
  - 防災・減災に関しては、政府支出の効率化に貢献するものであり、PRISMとしては民間のコミットメントを得ることができる施策を推進していく必要がある。
  - 建設、インフラ維持管理、防災・減災の各分野において、ICTとともにAIの活用も重要であり、革新的サイバー空間基盤技術とも連携しつつ、ユーザ側が課題を明確にし、AIを理解してツールとして使用することが必要である。
  - 技術開発の目標だけではなく、解決すべき課題を明確化することが重要であり、対象施策に求める要件に追加すべきである。
  - インフラ関係に対する研究開発投資を増やすためには、新たな技術開発が評価されてビジネスにつながるなど、仕組みを構築しなければならない。
  - 全国でバラバラに存在する建設、インフラ維持管理、防災・減災のデータを標準化してデータベースを構築することが重要である。これにより、国際標準化の可能性も出てくるのではないか。
  - 情報技術と制度改革は車の両輪であり、IT化とともに公共工事の発注方式を工夫することも考えていただきたい。
  - 各委員の意見については、座長一任にて実施方針（案）を修正・決定し、各委員に展開することとする。
- (2) 各省提案施策の評価・選定について
  - 各省提案施策を今後選定していくための「各省提案施策の評価方針（案）」について事務局より説明。
  - 評価のポイントは案のとおりで良いが、各省提案施策について、フォーマットを定めて追加の説明資料を各省に求める等、効率的なヒアリング・評価の方法を事務局で検

討し各委員に提案することとする。

以上